学校番号	１００７

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ｉ	単位数	２単位	年次	１年次
講座名	音楽Ｉ						
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ1」（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本校の音楽Ｉは、歌唱、器楽、鑑賞、創作の４つの分野を年間通して勉強します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テスト、筆記テストで評価します。
・それぞれの楽器に先入観や好き嫌いなく取り組み、その楽器の良さや楽しさを見つける事ができます。
・音楽が生涯ずっと皆さんの心の支えとなり、生きていく力となる事を願っています。

２　学習の到達目標

・音楽を愛好する心を育てる。
・共に音楽をすることを楽しむ。
・母国の音楽に触れ、興味を持たせる。
・音楽の感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a 音楽への関心・意欲・態度	b 音楽表現の創意工夫	c 音楽表現の技能	d 鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をする為に必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況（観察・聴取） 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況（観察・聴取）	実技課題進度状況 学習の取り組み状況（観察・聴取） 創作曲	学習プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	イメージを持って歌う	＜歌唱＞ 校歌 翼を下さい　他	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽鑑賞でイマジネーション	＜鑑賞＞ モーツァルトの作品 バッハの作品　他	○			○	a:音楽や音楽文化に関心を持ち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。 ｄ：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞している。	観察 ワークシート
	(ギター演奏に親しむ	＜器楽＞ 初心者向けの曲(ギター独奏) ポルカ(2 重奏)	○	○	○		a:ギターの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターの音色や奏法の特徴を活かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜創作＞ オノマトペでリズムをつくろう		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら表現したい音楽をイメージしてどのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2ターム	言葉とリズムの美しい語感を生かして表現しよう	＜歌唱＞ 夏の思い出 少年時代 この道 ミュージカル・ナンバー　他	○	○	○		a: 曲想や歌詞があらわす情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現する為に必要な発声、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽鑑賞でイマジネーション	＜鑑賞＞ ミュージカル作品	○			○	a:音楽や音楽文化に関心を持ち、鑑賞の学習に積極的に取り組もうとしている。 ｄ：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞している。	観察 ワークシート
	ギターコード・アンサンブルを楽しもう	＜器楽＞ ルージュの伝言　他 Plymouth Rock(リズム合奏)	○	○	○		a:ギターコード、アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: ギターコード、リズム譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	イメージを音にする。	＜創作＞ メロディーの雰囲気を変化させよう 演奏スタイルを変化させよう 自由発表	○			○	a:主体的に作品を記譜、記録したり、互いに発表しあったりする活動に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d:できあがった作品について音楽の諸要素の働きがイメージにふさわしいものになっているか考えながら創造的に聞いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3ターム	旋律の美しさや言葉の響きを感じとって歌おう	＜歌唱＞ カロ･ミオ･ベン(伊) 合唱曲　他	○	○	○		a:曲想と文化的歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律・リズム・速度など音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝える為の歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダー演奏・器楽合奏に親しむ	＜器楽＞ ･リコーダー 見上げてごらん夜の星を ビギナーズ･ビギン カントリー･ロード (2 重奏) ･器楽合奏 アンダー・ザ・シー 等	○	○	○		a:リコーダーの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:リコーダーの音色や奏法の特徴を活かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	音楽を聴く力をつけよう	＜鑑賞＞ イマジネーションを刺激する作品	○	○			a:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

4ターム	琉球音階を味わおう	＜歌唱＞ 谷茶前 芭蕉布 さとうきび畑 島人ぬ宝　他	○	○	○		a：琉球音階や沖縄の文化に関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:琉球旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって歌唱する為に必要な技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	三線の演奏に挑戦！	＜器楽＞ かんから三線うむしるむん さとうきび畑	○	○	○		a:三線の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素や旋律と和音の特徴をよく知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら表現を工夫している。 c:演奏に必要な三線の基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	メロディーをつくろう	＜創作＞ 音階を選んで旋律を作ろう 自由発表	○		○		a:それぞれの音階の特徴に関心をもちイメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 c:イメージに沿った旋律リズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。